

日本建築学会大賞受賞者一覧

年	受賞者	表彰業績名	備考
43	前川国男君	近代建築の発展への貢献	
44	堀口捨己君	創作と研究による建築的伝統発展への貢献	
45	武藤清君	耐震工学に関する研究	
46	今和次郎君	孝現学・生活学の提唱と建築計画学に対する一連の貢献	
47	村野藤吾君	永年にわたる優秀な建築の創作活動による建築界への貢献	
48	浜田稔君	都市防災における火災工学の発展に対する貢献	
49	森田慶一君	ヴィトルヴィウス研究ならびに西洋古典学に基づく建築論形成への貢献	
50	前田敏男君	建築環境工学における理論体系の発展に対する貢献	
51	坪井善勝君	平面および曲面構造に関する研究と設計に関する一連の業績	
52	今井兼次君	近代建築のヒューマニゼーションによる建築界への貢献 - 作家研究と作家活動の詩的統合 -	
53	高山英華君	都市・農村計画の体系化と発展および建築・都市行政の推進に寄与した功績	
54	狩野春一君	建築材料に関する一連の研究活動による建築界への貢献	
55	福山敏男君	日本建築史の研究による建築学および関連史学への貢献	
56	二見秀雄君	建築構造学ならびに建築構造学を通じて多年にわたり建築界の発展に貢献した業績	
57	藤田金一郎君	都市大火対策の理論体系確立と建築研究の促進に寄与した功績	
58	平山嵩君	建築計画原論・環境工学に関する研究・教育の功績	
59	谷口忠君	建築耐震構造学に関する一連の研究と耐震工学の発展に貢献した業績	
60	浅野清君	建築遺構ならびに遺跡にたいする実証的研究方法の確立と復原研究による日本建築史学および関連史学への貢献	
61	浦辺鎮太郎君	地域の風土に根ざした町づくりと優秀な建築の創作活動による建築界への貢献	
	加藤六美君	建築構造に関する研究ならびに建築構造を通じて広く関連各界の発展に貢献した業績	
	関野克君	文化財保存修復技術の近代化と国際交流における功績	
	谷重雄君	住宅問題および建築経済における多年の業績	

年	受賞者	表彰業績名	備考
61	丹下健三君	日本における現代建築の確立と国際的発展への貢献	
	仲威雄君	鋼構造建築に関する研究と設計に関する一連の業績	
	西山卯三君	住居学・建築計画学・地域計画学の発展に対する貢献	
	坂静雄君	鉄筋コンクリート工学の体系化への貢献	
	藤島亥治郎君	古建築・遺跡の歴史意匠的研究とその復元的設計における功績	
	横尾義貫君	建築構造学，基礎工学の発展とその関連分野の振興への貢献	
62	鶴田明君	金属系構造物の発展に対する多年の貢献	82才
	吉武泰水君	建築計画学の確立と建築教育の発展に対する貢献	70才
63	梅村魁君	建築耐震構造に関する研究と発展に対する貢献	69才
	大江宏君	建築設計・建築論・建築教育における一連の業績	74才
1989	太田博太郎君	日本建築史の広い分野にわたる顕著な研究業績	76才
	松下清夫君	建築構造の発展に寄与した功績	78才
1990	芦原義信君	建築と都市のもつ文化的意義の高揚とその建築法制における位置づけに関する多大な功績	71才
	小堀鐸二君	建築工学の発展に関する一連の功績	69才
1991	井上宇市君	建築設備の発展に貢献した功績	71才
	加藤涉君	建築学の海洋工学への参加，活動における長年の多大な功績	74才
	清家清君	建築の文化的向上と国際交流に関する多大の業績	72才
1992	勝田高司君	建築環境工学，建築設備工学の発展に関する一連の業績	75才
	若林實君	建築構造学に関する研究と発展に対する貢献	70才
1993	小林陽太郎君	建築環境工学，建築衛生学の発展に寄与した功績	75才
	西忠雄君	建築材料に関する一連の研究と技術普及活動による建築界への貢献	80才
1994	川越邦雄君	建築防火工学の発展と体系確立に対する貢献	73才
	本城和彦君	戦後わが国の居住水準の向上および地域開発分野における国際技術協力	80才
1995	谷資信君	建築構造学に関する研究と建築技術普及に寄与した功績	72才
	村松貞次郎君	日本近代建築史研究による建築学発展への貢献	70才

年	受賞者	表彰業績名	備考
1996	内田祥哉君	建築構法計画に関する一連の研究および設計活動による建築界への貢献	70才
	藤本盛久君	鋼構造建築の研究と発展への貢献	72才
1997	大崎順彦君	耐震工学ならびに基礎工学の研究と発展に対する貢献	75才
	大谷幸夫君	建築と都市の統合的把握に基づく一連の設計活動・社会的活動・建築教育における功績	72才
1998	斎藤平蔵君	建築環境工学の発展に尽くした功績	78才
	志賀敏男君	耐震工学及び自然災害科学の発展に寄与した一連の功績	74才
1999	佐藤重夫君	建築歴史・意匠分野における教育・研究上の多大な功績と文化財行政に対する多大な功績，原爆ドーム保存における技術的な貢献	86才
	田中尚君	建築構造学，特に極限解析・塑性設計の研究・教育の発展に対する貢献	75才
2000	五十嵐定義君	建築構造工学に関する研究と発展に対する貢献	72才
	田村明君	都市づくりの理論及び手法の構築とその実践	74才
2001	鈴木成文君	住まいを中心とした建築計画研究の確立と建築教育の発展に対する貢献	73才
	榎文彦君	現代都市における近代建築のあり方を追求した一連の創作活動による建築界への貢献	72才
	松岡理君	建築構造学、海洋建築工学の研究とその発展に尽くした功績	74才
2002	石井聖光君	建築環境工学、特にホールの音響設計法をはじめとする建築音響学の発展に対する貢献	77才
	加藤勉君	建築構造学、特に鉄骨構造の研究・教育と発展に対する貢献	72才
2003	飯田喜四郎君	我が国における西洋建築史学の確立と建築文化財保存の実践に対する貢献	78才
	白山和久君	建築材料・施工および建築性能論に関する一連の研究と技術普及活動による建築界への貢献	78才
2004	石田頼房君	わが国における近代都市計画史の研究とその発展に尽くした功績	71才
	中村恒善君	建築設計力学に関する研究と発展に対する貢献	70才
2005			